



堅調な原油相場に死角はないのか

2019年4月10日

原油価格が堅調に推移

原油価格が堅調に推移している。【図表1】直近では昨年安値からの上昇率が5割を超えた。

昨年11月配信のNo.242より、筆者はWTIの想定レンジを40～60米ドルとしていた。12月末には42米ドルの安値を付け、想定レンジの下限を試した。しかし、その後は目立った調整もなく上昇を続け、想定レンジ上限の60米ドルを上回ると、さらに上げが加速している状況だ。

背景にOPEC加盟国の極端な減産

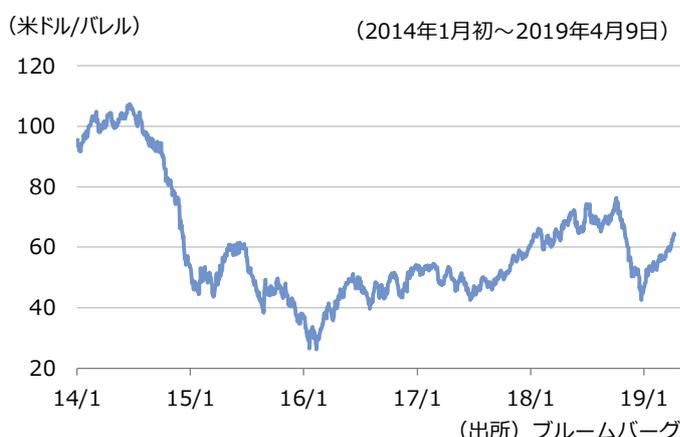
力強い上昇の背景として、OPEC（石油輸出国機構）加盟国による大幅な減産がある。【図表2】サウジアラビアだけでOPECの協調減産の目標を達成していることに加え、減産を猶予されているイラン・ベネズエラ・リビアは米国からの経済制裁や地政学リスクの高まりで意図せざる減産に追い込まれている格好だ。

原油価格の上昇は続くか

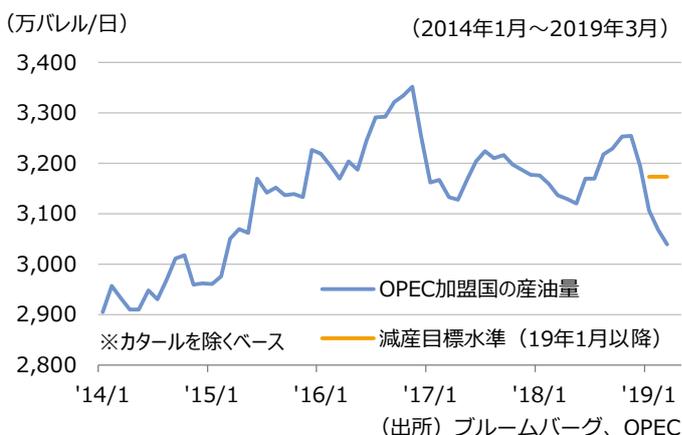
原油価格の上昇を妨げる要因が多く、上値余地は限定的と考える。ロシアが協調減産に非協力的な立場を示していることに加え、サウジアラビアも一段の減産には否定的な姿勢をとっており、6月のOPEC・OPECプラス会合に向けて協調体制の脆弱性が意識されやすくなるだろう。さらに、今年後半以降には米国の大幅増産が待ち構えている。また、原油価格に遅れてガソリン価格も上昇していることから、トランプ政権による原油高を抑制する動きが勢いを増してくると考えられる。【図表3】これらの要因を押しつけて原油価格が上昇し続けるのは、かなりハードルが高いだろう。

もし、足元の上昇モメンタムが継続し、WTIで70米ドルを超えるような動きになれば、今度は昨年後半のような大幅下落への警戒を強めないといけなくなるだろう。

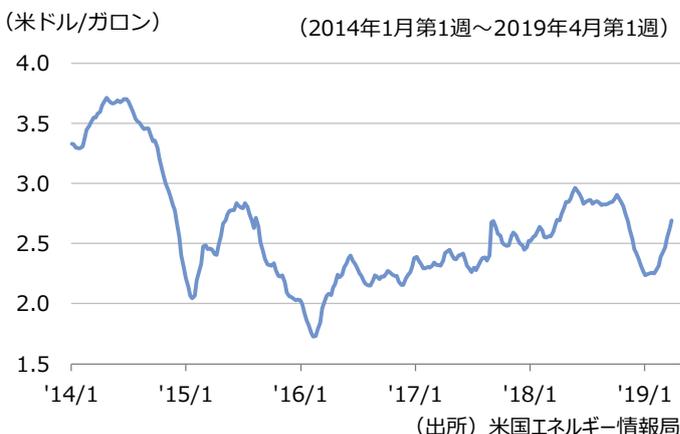
図表1 WTI原油先物価格



図表2 OPEC加盟国の産油量



図表3 米国のレギュラーガソリン価格



投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.24% (税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大32,400円 をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約70円 をご負担いただけます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は**大和投資信託**が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

設定・運用は…

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。